

第2部 活動報告

1. 活動記録

2020年度において高等研センターが行った活動は以下のとおりである。

開催件数	研究会(講演会、シンポジウム含む)	21件
	公開講座	—
刊行物	高等法政教育研究センター年次報告書(2020年度)	2021年7月(WEB公開)
高校・中学等の訪問対応	出張講義:道内1校	

2021年度に開催した講演会・シンポジウム・ワークショップ 一覧

04月10日 (土)	<p>ワークショップ「体制転換と法」研究会</p> <p>時間：14時～18時（予定） 場所：（Zoomを利用したオンライン・ミーティング）</p> <p>第1報告：朗晴（北海道大学高等法政教育研究センター・協力研究員） 「中国民法典における懲罰的損害賠償」 第2報告：鈴木賢（明治大学教授） 「香港国家安全保全法が一国二制度にもたらしたもの」</p> <p>共催：「体制転換と法」研究会／北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>
04月24日 (土)	<p>法理論研究会定例研究会「スマート社会におけるプライバシー概念」</p> <p>時間：14時～ 場所：（Zoomを利用したオンライン・ミーティング）</p> <p>報告者：ルベン・エンリケ・ロドリゲス・サムディオ氏 （北海道大学大学院法学研究科・助教、比較法） テーマ：「スマート社会におけるプライバシー概念」</p> <p>主催：北海道大学法理論研究会、北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>
05月29日 (土)	<p>法理論研究会定例研究会「国際環境法の諸原則の一般的妥当の法理 ーグローバル法としての理論化と課題ー」</p> <p>時間：13時～ 場所：（Zoomを利用したオンライン・ミーティング）</p> <p>報告者：阿部紀恵氏（京都大学大学院法学研究科特定助教、国際法） 題 目：「国際環境法の諸原則の一般的妥当の法理 ーグローバル法としての理論化と課題ー」</p> <p>主催：北海道大学法理論研究会、北海道大学国際法研究会、北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>
05月30日 (日)	<p>ワークショップ「体制転換と法」研究会</p> <p>時間：13時～18時（予定） 場所：（Zoomを利用したオンライン・ミーティング）</p> <p>第1報告：鈴木賢（明治大学教授） 「台湾における移行期の正義と人権回復の努力」 第2報告：牧野力也（東京家政学院大学非常勤講師） 「国家による反人権的不法行為に対する韓国司法の役割」 第3報告：島田弦（名古屋大学大学院国際開発研究科教授） 「インドネシアにおける権威主義体制期の人権侵害と ポスト権威主義憲法体制」</p> <p>共催：「体制転換と法」研究会／北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>

06月19日 (土)	<p>法理論研究会定例研究会「司法審査の基礎」</p> <p>時間：14時～ 場所：（Zoom を利用したオンライン・ミーティング）</p> <p>報告者：小川亮氏（東京大学大学院法学政治学研究科特任講師、憲法） テーマ：「司法審査の基礎」</p> <p>主催：北海道大学法理論研究会、北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>
07月15日 (木)	<p>HOPS セミナー「どうする？ どうなる？ 北海道のローカル線」</p> <p>時間：14時35分～16時25分 場所：オンライン（ウェビナー）</p> <p>報告： 「イギリスにおける鉄道民営化と地方路線：フランチャイズ制と地域政策」 高松淳也氏（名城大学法学部） 「ドイツの地域鉄道をめぐるガバナンス」小林大祐氏（東洋学園大学人間科学部） 「北海道の鉄道網を維持するための論点」岸邦宏氏（北海道大学公共政策大学院） 「フランスのローカル線運営：「私の鉄道、私の地域」の意味」村上裕一氏（北海道大学公共政策大学院）</p> <p>共催：科研費・基盤 C「マルチレベル・ガバナンスの研究：人や組織の discretion による事例分析」（研究代表者：村上裕一）、北海道大学公共政策大学院、北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>
07月20日 (火)	<p>講演会「自動車損害賠償保障制度」</p> <p>時間：14時45分～16時15分 場所：オンライン（ウェビナー）</p> <p>講 師：国土交通省自動車局保障制度参事官室 長谷知治参事官 タイトル：「自動車損害賠償保障制度：自動車事故対策と民法法・公共政策の交錯」</p> <p>共催：北海道大学公共政策大学院、北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>
07月24日 (土)	<p>ワークショップ「体制転換と法」研究会</p> <p>時間：14時～18時（予定） 場所：（Zoom を利用したオンライン・ミーティング）</p> <p>第1報告：徐行（北海道大学准教授）「中国における『検察による公益訴訟』」 第2報告：渋谷謙次郎（早稲田大学教授）「マルクス主義法理論の再検討」</p> <p>共催：「体制転換と法」研究会／北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>
07月31日 (土)	<p>法理論研究会定例研究会「合衆国における親子の要件論」</p> <p>時間：15時～ 場所：（Zoom を利用したオンライン・ミーティング）</p> <p>報告者：山口真由氏（信州大学社会基盤研究所特任准教授、英米法（家族法）） テーマ：「合衆国における親子の要件論」</p> <p>主催：北海道大学法理論研究会、北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>

<p>08月24日 (火)</p>	<p>講演会「初音ミクの『ルールデザイン』 ～創作とブランディングと知財法の交点の視点から～」</p> <p>時間：16時30分～ 方法：Zoom を利用したオンライン・ミーティング</p> <p>演題：「初音ミクの『ルールデザイン』 ～創作とブランディングと知財法の交点の視点から～」 講演：菱山豊史 氏（クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 法務担当）</p> <p>主催：北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 共催：北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>
<p>09月18日 (土)</p>	<p>法理論研究会定例研究会 「橋場典子著『社会的排除と法システム』（北海道大学出版会、2021年）書評会」</p> <p>時間：14時～ 場所：（Zoom を利用したオンライン・ミーティング）</p> <p>コメンテーター：濱野亮氏（立教大学法学部教授、法社会学） 葛野尋之氏（一橋大学大学院法学研究科教授、刑事法・少年法） 応答者：橋場典子氏（成蹊大学法学部助教、法社会学） テーマ：橋場典子著『社会的排除と法システム』（北海道大学出版会、2021年）書評会 参考文献：橋場典子『社会的排除と法システム』（北海道大学出版会、2021年）</p> <p>主催：北海道大学法理論研究会、北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>
<p>09月18日 (土)</p>	<p>ワークショップ「体制転換と法」研究会</p> <p>時間：14時～18時（予定） 場所：（Zoom を利用したオンライン・ミーティング）</p> <p>第1報告：伊藤知義（中央大学教授） 「ハンガリー『反LGBT法』と『ヨーロッパ的価値』」 第2報告：阿曾正浩（北見工業大学准教授） 「書評：藤田勇『ロシア革命とソ連型社会＝政治体制の成型 ソビエト社会主義共和国連邦史研究 1917-1937』（日本評論社、2021年）」</p> <p>共催：「体制転換と法」研究会／北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>
<p>10月16日 (土)</p>	<p>法理論研究会定例研究会「集団実体性と法：法による統合と分断を考える」</p> <p>時間：14時～ 場所：（Zoom を利用したオンライン・ミーティング）</p> <p>報告者：村田 陸 氏（東京大学大学院法学政治学研究科博士課程、法哲学） テーマ：「集団実体性と法：法による統合と分断を考える」</p> <p>主催：北海道大学法理論研究会、北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>

<p>11月12日 (金)</p>	<p>(共催) 2021年度 第1回 HOPS セミナー 「カーボンニュートラルとその先に描く北海道の暮らし」</p> <p>時間：13：30～15：30 場所：(Zoom Webinar によるオンライン開催)</p> <p>趣旨説明：北海道大学公共政策大学院 村上 裕一(司会) 講演：北海道電力株式会社 経営企画室 企画・政策グループ 南波 慎太郎 「『2050年カーボンニュートラル』を目指して」 北海道ガス株式会社 都市エネルギーグループ 鈴木 峻太 「カーボンニュートラル実現に向けた地域連携の取組み」 北海道大学公共政策大学院 中尾 文子 「気候変動と生物多様性、統合的取組みに向けた課題」 環境省 北海道地方環境事務所 環境対策課 青地 絢美 「地域の資源を生かし脱炭素を目指す地域循環共生圏の創出」</p> <p>主催：北海道大学公共政策大学院 共催：北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>
<p>11月12日 (金)</p>	<p>(共催) 公開シンポジウム 「政治学におけるアナーキズムの意味～社会と国家をとらえ直す～」</p> <p>時間：17：30～19：30 場所：(Zoom Webinar によるオンライン開催)</p> <p>司会：早川 誠(日本学術会議連携会員、立正大学法学部教授) 挨拶：辻 康夫(日本学術会議連携会員、北海道大学大学院法学研究科教授・高等法政教育研究センター長) 報告：梅森 直之(早稲田大学政治経済学術院教授)～日本政治思想史の観点から～ ：重田 園江(明治大学政治経済学部教授)～現代政治理論の観点から～ ：山崎 望(駒澤大学法学部教授)～国際政治・運動の観点から～ コメント： 田村 哲樹(日本学術会議連携会員、名古屋大学法学研究科教授) 松本 彩花(日本学術振興会特別研究員)</p> <p>主催：日本学術会議政治学委員会政治思想・政治史分科会 共催：北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>
<p>11月13日 (土)</p>	<p>法理論研究会定例研究会「沖縄における社会変動と模合の慣習」</p> <p>時間：14時～ 場所：(Zoom を利用したオンライン・ミーティング)</p> <p>報告者：渡口紘子氏(北海道大学法学研究科修士課程、法社会学) テーマ：「沖縄における社会変動と模合の慣習」</p> <p>主催：北海道大学法理論研究会、北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>

<p>12月11日 (土)</p>	<p>ワークショップ「体制転換と法」研究会 時間：14時～18時 場所：Zoomを利用したオンライン・ミーティング</p> <p>第1報告：「中国の最高人民法院における犯罪に起因する 不法行為損害賠償法の独自性について——「刑事」と「民事」の関係の一齣」 報告者：坂口一成（大阪大学教授） 第2報告：「ロシアにおける抵当信用による住宅取得」 報告者：篠田優（北星学園大学教授）</p> <p>共催：「体制転換と法」研究会／北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>
<p>12月18日 (土)</p>	<p>法理論研究会定例研究会 「討議的正当化における『討議拒否のアポリア』とその現象学的克服」</p> <p>時間：14時～ 場所：北海道大学法学部センター会議室（3階315室） （Zoomを利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス）</p> <p>報告者：宮田 賢人 氏（小樽商科大学商学部准教授、法哲学） テーマ：「討議的正当化における『討議拒否のアポリア』とその現象学的克服」</p> <p>主催：北海道大学法理論研究会、北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>
<p>2022年 01月08日 (土)</p>	<p>法理論研究会定例研究会「アフリカ民族誌の比較と法的人类学： 千葉法主体論と法のクレオール論を手掛かりに」</p> <p>時間：14時～ 場所：北海道大学法学部センター会議室（3階315室） （Zoomを利用したオンライン・ミーティングとのハイフレックス）</p> <p>報告者：石田 慎一郎 氏（東京都立大学人文社会学部准教授、 社会人類学・法人類学・東アフリカの民族誌） テーマ：「アフリカ民族誌の比較と法的人类学： 千葉法主体論と法のクレオール論を手掛かりに」</p> <p>主催：北海道大学法理論研究会、北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>
<p>2021年 12月10日 (金)</p> <p>2022年 01月11日 (火)</p> <p>01月18日 (火)</p>	<p>公開講演会「マイノリティはなぜ『今』声をあげるのか」</p> <p>場所：Zoom ウェビナーによるオンライン開催</p> <p>第1回 2021年12月10日（金）13：00-14：30 「ブラック・ライヴズ・マター運動とアメリカ多文化主義の修復」 南川文里（立命館大学教授）</p> <p>第2回 2022年01月11日（火）13：00-14：30 「多文化主義は、排外主義を防げるか：オーストラリアの経験から」 塩原良和（慶應義塾大学教授）</p> <p>第3回 2022年01月18日（火）14：45-16：15 「世俗社会における信仰と政治参加：ヨーロッパ・ムスリムの政治参加」 浪岡新太郎（明治学院大学教授）</p> <p>司会・コメント：辻 康夫（北海道大学法学研究科 教授）</p> <p>主催：北大法学研究科高等法政教育研究センター</p>

03月09日 (水)	法理論研究会定例研究会「リスク対応に関する法と地域自主性（仮題）」 時間：14時～ 場所：Zoom を利用したオンライン・ミーティング 報告者：鄭 北辰 氏（北海道大学大学院法学研究科博士課程、法社会学） テーマ：「リスク対応に関する法と地域自主性（仮題）」 主催：北海道大学法理論研究会、北大法学研究科高等法政教育研究センター
---------------	--